

トップニュース：中部地区路面電車サミット福井大会閉幕

去る11月20日にROBAの今年度最大のイベント、中部地区路面電車サミット福井大会が開催されました。参加者は150名。午前中の各地報告、午後の望月真一先生の基調講演、パネルディスカッションと続き、サミット宣言まで、会場は熱心に聞き入る構成団体メンバーや全国からの参加者、福井市民等近隣からの参加者の熱気で、暖房なしでも11月後半とは思えない室温となりました。サミットに先立つ19日は低床LRV800型の試乗会。こちらも3便合計で120名の参加。皆さん乗り心地の良さに大いに感激しておられました。福武線視察会はサミット参加者のための催し。福井駅前から西武生まで800型に乗車し、西武生では車両基地構内で770型にも試乗。従来車200型で福井に戻りましたがその乗り心地の違いには感激しきり。交流会も大盛況でした。皆さん本当にお疲れ様でした(文：清水)



活動報告

- 11月1日 福井県バイコロジー推進協議会
- 11月1日 のりのりマップ第3版発売
- 11月4・8・15・18日 中部地区路面電車サミット
実行委員会
- 11月5・6日 全国バスマップサミット(松江)
- 11月12・13日 第2回鉄道まちづくり会議(上田)
- 11月19日 アートフェスタ・LRV試乗会
- 11月20日 第4回中部地区路面電車サミット
福井大会(於：響のホール)
- 11月25日 月例会・理事会

今後の予定

- 12月4日(日) 福井市消費者まつり
ROBAブース出展(市民活動助成基金推進行事)
- 12月初旬(土・日) ROBA 気まま旅三国かにツアー
- 12月12日(月) 北海道環境財団シンポジウム参加
(札幌/清水)
- 12月16日(金) 12月例会・理事会
- 12月随時 LRT部会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

「交通渋滞」徹底解剖 編者 大口 敬

発行所 社団法人 交通工学研究会 発行所 丸善

ISBN4-905990-54-8 C3051 2000円(税別)

本書のまえがきに、『「交通渋滞」について「不思議だな」「なぜだろう」と関心興味のある方であればどなたでも読めるように工夫したつもりである。』とあるように、渋滞のみならず、道路を利用する社会的費用等まで言及がされており、交通問題全般を考える入門書として最適な書でありかつ政治的色彩を排した学術的アプローチには好感が持てる。

ただ、現在話題となっている道路財源問題、費用便益分析問題への分析が浅く、渋滞解消をどうしても交通問題の中にとらえてしまう恐れがある書であることを留意しながら読む必要がある。

(美濃部)

バスマップサミット in 松江 11月5,6日 (きまま旅番外編 in 松江)

10月31日に出来上がったばかりの「のりのりマップ」を携え、今回新たに書き加えた「つないで生きるバス電車、スローライフのすすめ」を実践すべく、前日から出雲経由でサミットに臨んだ。といっても実際には、親戚への訪問と、病院での検査を挟んだだけだった。でも、サミット前の午前中に出雲から松江へのきまま旅は、3度目の松江とは思えないぐらいの新しい発見をいくつも得ることができた。

出雲から一畑電鉄で松江入りをもくろんだが、2分差で乗り遅れて、1時間後の電車を待てきれずJRで松江へ。スローライフの掛け声もおしまいとおもいきや、こちらも宍道湖の南側に沿って走るローカル路線で、のんびりと旅ができた。途中の「来待駅」は(皆さん読めますか?「きまち」といいます)列車が来るのをのんびり待っているような素敵な名前で、駅舎も山小屋風に、ホームも綺麗に整備されていました。

松江でレンタサイクルにするつもりが、レンタカー屋で借りるとか(本当でした)、300円で乗り捨てOKのイベントもやってなくて、結局、バス電車めぐりになりました。

- ・松江駅前 (松江ウォーカー) 松江しんじ湖温泉駅前[足湯あり]
- ・同 (レイクライン:クラシックカー) ティファニー庭園美術館
- ・同駅 (一畑電車[無人駅だが、高いホームへはスロープ(他も同じように整備されているそうだが;佐藤)] 松江しんじ湖温泉駅
- ・同 (松江ウォーカー) 松江駅前。
- ・おまけ:その後まち歩きで、大橋南詰 (路線バス) 北堀町

さすがに観光都市、バスにはたくさんのおばちゃんに乗っていましたが、例によって、バスそれぞれごとの散策マップ、時刻表はあるものの、乗車料金も、1日乗車券もばらばらで、結局1日乗車券を2種類、切符を2枚買って、1350円ほどに。なお、あとで聞くとところによると、バス電車松江出雲2日間パーフェクトチケットというのがあって2500円だとか。すごいが高い。

松江でも、すべてのバス電車が載った「どこでもバスマップ」のありがたみがわかる。また、『まちなかコース』を案内してくれた「まちかど研究室」のメンバーは、天神商店街のなかの活動拠点「島根大学白湯サロン」整備はされたが寂れた商店街、銀行が開放している展望室(景観を阻害している罪滅ぼしか?とも)「どこでもバスベンチ」を購入してくれたお店の前からバスで松江城近辺へ堀をながめながら移動、再びまち歩き。楽しく歩いてもらうために補助的にバスを使っていて、まさにホジロバでした。

夜学は街中に残る蓬萊荘という旅館で、鈴木文彦さんの最近のバス事情、いろいろな地域でのバス事業への取り組みが紹介されました。個人的には建築としても興味がありましたが、そのあとの懇親会の飲むほうに一生懸命で。出し物は手作りの歌でした。うっとり聞き入ってしまいました。福井のいつもの、おじさん音楽隊よりも、はるかに良かった(失礼)。



「島根大学白湯サロン」の様子、こんなところほしいなー

翌朝はあいにくの雨、皆でバスにのって会場の島根大学へ。以下省略。

あれ?サミットに行ってきたはずなのに。それでは一言だけ報告を。

「のりのりマップ第3版」は、行くところ行くところで好評で、持って行ったMAPは完売しました。

完 (by はやしや)

「けなるいのう。ROBAのバスベンチも、はよつくるさ。」



- ・レイクライン(クラシックなバス)
- ・女性運転手 車椅子の人も利用
- ・柱「どこでもバスマップ」:方面別に各社すべての路線を掲載した。



第2回全国鉄道まちづくり会議 in 上田に参加して

去る11月12日、長野県上田市において第2回全国鉄道まちづくり会議 in 上田が開催された。前日11日の夜は懇親会。地元上田市、長野県内4鉄道事業者のほか、各地の鉄道事業者、行政、学識経験者、市民団体が参加した。名刺交換から情報交換へと交流が繰り広げられた。当会議の生みの親である勝山市からも山岸市長、滝川会長、えちぜん鉄道から島部長らが参加されていた。

12日本会議の目玉は田中康夫長野県知事と塩川正十郎元財務大臣の講演。田中知事は講演の中でイギリスの例を採ってはっきりと鉄道の上下分離を否定したが、イギリスの例は上下分離の一例であって、十把一からげで否定するようなものではないと感じた。鉄道に関する正確な情報をもっと流通しなければ、日本の公共交通政策の転換期にあたる重要な局面において適切な選択がなされていないという思いを強くした。

それから「マイレール大集合」においては茨城県の鹿島鉄道の沿線で存続運動を繰り広げる各高校の生徒の指導に当たっておられる栗又教諭の話も印象に残った。以前、当面5年間の存続決定を喜んだが、その5年目が間近に迫る。状況は以前にも増して複雑化かつ悪化している。高校生たちは熱心に活動を続けている……。がんばってほしいが、それ以上に地域全体が、さらに国が、もっと抜本的な対策あるいは交通政策の修正を加えていかなければ、鹿島鉄道を含め、多くの鉄道がこれからどんどん姿を消していく。そこで19日の懇親会で宇都宮大学教授の古池弘隆先生との会話を噛みしめた。「この状況下、廃止を押しとどめる活動より、成功事例を広く情報発信する活動の方が効果大きい。」北陸で活動する私たちの役割の大きさを改めて認識した。その意味で重要な2日間だったような気がする。(文：清水省吾)

来年のバスマップサミットは仙台であるんにゃと…、みんなで行こさ…の…

11月5、6日の両日、島根県松江市で第3回全国バスマップサミットが開催。北は北海道、南は沖縄から多数のバス愛好家たちが一同に会しました。

5日は朝早く福井を出発し、昼過ぎに松江に到着しました。この日の予定は公共交通を使っでの松江ミニ旅行。まちかど研究室の方々によるガイドにて松江周辺を散策しました。私はレトロなバスに乗り松江城へ。堀川遊覧というお堀を船でまわる観光をしました。船から見る景色は秋の松江をより一層美しくしていました。「初めてだけど、どこか懐かしい」そんな感じのする町並みでした。

ミニ旅行も終わり、夜学では『路線バスと公共交通の現在・未来』と題した鈴木文彦先生の講演が行われました。全国の成功事例を写真で見ることができ、新しい発見や驚きがあり、ちょっとした工夫で今あるものをさらに有効に利用できることを学びました。

明けて6日は島根大学に会場を移し、全国市民団体の取り組みを発表し合いました。同時に各県のバスマップ展示即売も行われ、会場は溢れんばかりの活気。サミットではいくつかのグループにわかれワークショップが行われ、活発な意見が出されていました。お昼休みには



堀割遊覧船にて



活気・活気・活気

日野の最新ハイブリットバスに試乗することもでき、技術の進歩を体感しました。午後からは松江の公共交通大改革フォーラム、バスマップサミット制作者とバス関係者らによる熱烈ディスカッションも行われました。ROBAからは林さんが段上へ。会場は「うん、うん、」と熱心に聞き入っていました。

全国から「バスマップ」というキーワードで松江に集まった大勢の人。初めて会っても意気投合してしまうのは、熱い志でつながっているからなのだなと思いました。切磋琢磨し、さらによいまちづくりをしていけたらいいな。次回のバスマップサミット開催は仙台。これはまたお邪魔しないと。(門田)

第4回中部地区路面電車サミット福井大会1日目(LRV試乗会)051119



受付



ばす子・電太・チャーリーがお出迎え



福井駅前



裁判所前



裁判所前



裁判所前で電停の現状と改良を説明



L R V 試乗参加者 (第1便)



L R V 試乗参加者 (第2便)



L R V 試乗参加者 (第3便)



車内での説明 (佐藤さん)



車内での説明 (清水さん)



お世話になりました福井鉄道の皆さん



車内での説明 (鈴置さん)



福井駅前～西武生 / L R V 試乗



ジャパニーズ電車ガール? (770形)

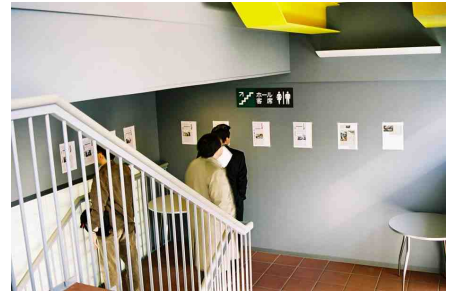
第4回中部地区路面電車サミット福井大会2日目(サミット)051120



受付



のりのりマップ販売



公共交通関連記事



各地活動報告



各地活動報告(佐藤さん)



特別報告
(富山ライトレールの開業)



記念講演(望月真一氏)



記念講演(望月真一氏)



会場風景



シンポジウム
(人が中心の街づくり)



会場風景



会場風景



岐阜からの報告(中井健一さん)



新入会の「公共交通とやま市民応援団」/後方は伊奈さん(とよはし市電を愛する会)来年は豊橋



サミット宣言(清水さん)

第4回中部地区路面電車サミット報告

みなさま お疲れさまでした！……「継続は力なり」

11月19日～20日の2日間に亘って開催された中部地区路面電車サミット福井大会が無事終了いたしました。19日は会員15名参加、20日は20名の会員の参加をいただきました。20日の日刊県民福井や朝日新聞の朝刊には19日のLRV無料試乗会の様子の記事が掲載されました。また、NHK TVではニュース報道もされ社会的な関心の的となったようです。

19日のLRV試乗会には予定した120名(40名×3運行)の試乗申し込みがあり、佐藤・清水両名による解説付きで大いに楽しんでいただきました。また、西武生駅(車庫)までROBA会員やサミット参加者を乗せての試乗会も行われました。(ここでは福鉄・鈴置さんが解説)

20日、いよいよサミットの本番。9:00に集合し、会員が手際よく準備をすすめ、スタンバイOK。午前の「路面電車・最前線」と題した報告会には120名、午後の記念講演・シンポには150名の参加がありました。我々150名を目標としていただけにホッ！としています。

各地の報告を聞くと、改めて活動の継続の必要性を痛感いたしました。そして、各地の市民団体のパワーと同時に中部地区の路面電車の先進性を感じました。富山市の富山港線の路面電車化の報告では、LRTとしてできることは何でもしよう、という勢いが感じられました。特にLRV7編成の導入については、これまでにない画期的なことで、来春の開業には是非富山ツアーを組みたいところです。

サミット終了後のお別れ会でも、みんな話し足りなかったのか多くの参加者が残って下さり、さらに相互の親睦を深めていました。ROBA会員はもとより、県外から多くの参加者による熱心な報告と議論で有意義な二日間を送ることができました。

なお、次回5回大会は豊橋でH18年6月10日(土)[路電の日]に開催されることが決定されました。やはり、『継続は力』ですね！
(内田桂嗣)



西武生駅車両基地(051119)

第3回 公共交通利便性向上検討会 051118 福井県庁11階1101会議室

<参加者> 事業者：京福バス・福井鉄道・えちぜん鉄道・JR西日本福井地域鉄道部・福井県タクシー協会
経済界：福井商工会議所 学識経験者：福井大学工学部
行政：中部運輸局福井運輸支局・福井市総合交通課・福井県総合交通課
NPO法人：ROBA 林博・林照翁

最初、県総合交通課から県内公共交通機関の最近の現状について説明がありました。

福井鉄道/福武線でLRV車の期間限定運行(国民文化祭2005.10.21~11.3・延べ1500人が利用)
ROBA/中部地区路面電車サミット福井大会を予定(11.19~20)LRV試乗会、NPO交流
えちぜん鉄道/全41駅にネットワーク音声カメラシステム導入/無人駅に設置し、利用客との相互交信により遅延情報などを提供する、また状況に応じて代行バスも手配する(2006.1運用開始)
えちぜん鉄道/勝山駅「駅前広場等検討委員会」設置による利便性向上策の検討
春江町/JR春江駅「パーク&ライド」駐車場の整備/拠点への駐車・駐輪場整備による利便性向上
「越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会」/PR活動・バス電車によるサトイモ堀り体験
えちぜん鉄道/新保・大和田巡回バス「あおぞらくん」2ルートに変更し平日も運行開始(11.1~)
えちぜん鉄道/松岡駅・福大医学部直通バス「げんきくん」11便平日のみ運行無料(11.1~)
名鉄バス/名古屋から若狭へ冬季限定バス新路線/名古屋 常神半島(2006.1~3)
福井駅西口中央地区再開発/県が市の構想を受け、地元を含めた検討組織の提案
福井新聞/「電車・バス・まちづくり・・・地域交通の挑戦」連載記事(11.1~16 8回シリーズ)

次に2回の検討会で出た意見をふまえ、自由討論に入りました。

新システムの導入

- ・ICカードの導入 ・バスロケシステムの再構築/西口広場整備に向け新バスロケシステムの構築が必要(事業者) バスロケの設置場所と利用者のニーズにズレがあるので併せて見直しを(林博)

交通事業の連携によるサービス向上

- ・鉄道やバス各社が連携したフリー切符の発行を ・民間企業との連携(ISO14001取得企業・県内203社、ノーマイカーデー参加企業に、メリットのある企画を提案し連携を) ・各事業者のダイヤの調整
利用料金の低減化、わかりやすい運賃体系の導入
- ・電車回数券の使用期限の廃止(金券化も) ・路線バス料金の改正 ・定期券の料金見直し
バスサービスの向上
- ・バスサービスの実態調査、指導 ・最終バスの時間延長 ・最終バス後の代行タクシーの運行
アクセス・乗り継ぎの改善に向けた環境整備
- ・幹線路線へ接続するフィーダー路線の運行 ・パーク&ライド、サイクル&ライドの推進
バス利用への取り組み
- ・ノーマイカーデーの活用について ・バス利用への意識啓発

その他の意見

- ・公共交通を使ってイベントを行う場合はマイカーではできないことを行う。たとえば、電車を使って出発地と到着地を違がえて行った、永平寺町の大師山ハイキングは好評であった(事業者)
- ・えち鉄サポーターズクラブの成功(会員数3,400名/延べ利用10,000回、会員証で運賃1割引、施設利用割引などの特典)を踏まえ、新たに福井県版公共交通サポーターズクラブの結成(会員証で県内の公共交通運賃割引、公共施設利用割引などの特典)を提案(林照)

今回の検討会での意見は「新世紀ふくい生活交通ビジョン」に基づく「福井県生活交通活性化会議」へ報告する予定。
(林照)

クイズ ぼくのパパはだれでちょうか？



作 / 漆崎 耕次

ヒント・・・パパは単身赴任中 / 答えはROBANEWS 37号で

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「この子のパパではありませんので・・・」

清水(副編集長)

「現在、岐阜に単身赴任中です」

内田(発行責任者)

「サミットとても疲れた。でも楽しかったです」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail : roba@mbh.nifty.com

URL : <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>